

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	少年補導センター運営事業			610106	担当課	生涯学習課	
	開始年度	昭和47(1972)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	崎山 正人		
	歳出費目	款)教育費	項)社会教育費	目)社会教育総務費	決算附属資料	238	頁	
	施策の大綱	青少年の健全育成			関連計画等	-		
	施策名	健全育成体制を充実させる			根拠法令等	福知山市少年補導センター条例		
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )						
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	巡回指導などにより、青少年の非行防止と健全な生活を確保し、誰もが安全安心に暮らせる地域を目指す。						
	対象者	青少年、市民	対象者数	79,000	一人当たりコスト	0.07		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等>						
	事業概要	街頭補導活動(官公庁の閉庁日を除く毎日)、特別補導活動(暴走族対策)(2回/年)、列車補導活動(1回/年)、社会環境浄化活動、啓発活動(3回/年)、相談活動						
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費	
		報酬	少年補導センター運営委員会委員報酬			64		
報償費		補導員謝礼			922			
旅費		職員旅費、研修旅費			4			
需用費		活動冊子作成、消耗品費(用度物品、啓発物品)			173			
関連事業	役務費、使用料及び賃借料		通信運搬費71、使用料及び賃借料2			73		
予算と執行の 状況	区分			H28	H29	H30	H31要求	
	事業費	当初予算...①		1,925	1,598	1,492	1,325	
		補正予算等...②		551	0	0		
		繰越し等...③		0	0	0	0	
		財源内訳	一般財源		2,476	1,598	1,492	1,325
			国支出金		0	0	0	0
			府支出金		0	0	0	0
			地方債		0	0	0	0
	その他特財		0	0	0	0		
	特定財源名称 (H29実績)						頁	
							頁	
職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.05/1.26	0.05/1.26	0.05/1.26	/		
	概算人件費...④		3,550	3,550	3,550			
総事業費(①+②+③+④)...⑤			6,026	5,148	5,042			
執行状況	執行額...⑥		1,966	1,236				
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		79.4%	77.3%				
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		街頭補導活動に対する注意助言件数の割合	%	11/30	8.9/30	/30	30	
		青少年補導件数(福知山警察)	人	677/850	568/850	/500	850	
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		少年補導委員による少年補導活動回数	回	298/330	308/330	/330	330	
		単位あたりコスト		6.6	4.0			
			/	/	/			
	単位あたりコスト		0.0	0.0				

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・ほぼ毎日活動される街頭補導活動は、犯罪の未然防止活動として必要性が高い。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・街頭補導活動は、ほぼ毎日昼間・夜間に3～5人体制で取り組んでおり、適時・適地に効率的に実施している。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	△	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・成果目標については、近年の傾向による目標としており、一定、理にかなったものと言える。ただ、最近、極端に注意助言する件数が減少している。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>●街頭補導活動回数に対する注意助言件数の割合が目標の30%より、大きく下回ったことは、日々の活動によることであり高く評価できる。</li> <li>●各ブロックの補導委員により地域の状況に応じた活動が展開されている。</li> <li>●街頭補導では交通ルール違反、喫煙など身近な指導から、非行の芽を摘む活動が実践できている。</li> <li>●福知山市における青少年補導件数(福知山警察署発表)の過去5年間平均値850人を指標とする場合、近年の状況は60～70%と良好に推移することも健全育成活動の評価として適切である。</li> </ul>	
	今後の課題及び方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>●福知山市中心地域の補導活動だけでなく、周辺地域(中学校区ごと)などの補導活動の工夫と強化。</li> <li>●組織拡大による補導委員相互の連携強化と補導員の育成。</li> <li>●相談活動や環境浄化活動の充実と保護司会等の関係機関との連携強化。</li> </ul>		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所見		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・街頭活動・啓発等の実施場所や方法等は、前例踏襲ではなく見直しされ、より効率的・効果的な実施を行ってください。</li> <li>・相談件数が0件であることは、その周知方法等検討の必要があると思います。最近ネットやSNSによるいじめや犯罪が多い中で、個別での相談・指導件数が増えないのであれば、実施方法の検討をおこなってください。</li> <li>・非行を行う少年のメンタルフォローという面で、非行に至る前に相談ができる仕組みも検討してほしい。</li> <li>・今後は、補導委員さんも高齢化しているということなので、それぞれの地域だけを対象とするのではなく、交流しながらみんなで幅広い地域をカバーし合うといった工夫をしながら巡回活動を行っていただきたい。</li> <li>・センターの運営委員や補導員の方々が、ほぼ毎日の補導活動等に従事し精力的に活動していただいているが、活動内容や活動実績の冊子の内容等、従来の取組からの工夫や発展性に欠けると感じる。補導活動についても、情報機器の発達等により近年の青少年犯罪はより低年齢化し、また、潜伏化しており、街頭や列車等での補導活動が変わらず効果を発揮するかは大きな疑問である。センターの運営について、以下の項目について運営委員会等でのご協議をお願いしたい。</li> <li>・活動実績冊子「補導だより」の内容の工夫(感想よりも青少年や家庭への啓発等が重要ではないか)</li> <li>・相談活動の工夫(H29年度実績0・学校との更なる連携等)</li> </ul>		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<ul style="list-style-type: none"> <li>■青少年補導委員は青少年の健全育成と非行防止のため、『愛の一声』運動の街頭補導を行っているが、青少年の動向の現状認識、把握を進め、情報提供や研修会の開催など青少年補導委員の意識の向上を図ることで、日々の補導活動を充実させたい。</li> <li>■補導活動については、青少年の健全育成について習熟した熱意のある方を選定し、委嘱を行うことで、活動の充実を図るとともに、警察・学校等の関係機関とも連携して、円滑な組織運営を図りたい。</li> <li>■子どもの問題行動や悩み事に関する相談については、少年補導センターへ直接来所される方は少ない。ただ相談そのものは学校や警察のサポートセンターなどにも寄せられているため、これら関係機関とも情報の共有を図りながら支援を続けたい。</li> <li>■毎年発行している『補導だより』は、市内のすべての小・中・高等学校の保護者に配布しているが、広報誌の内容充実に努めるとともに、日々の補導活動についても市民に公布することで補導活動を周知して行きたい。</li> </ul>	
予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30)		担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充			

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	平成こだま教育推進事業 (610114)			担当課	生涯学習課	
	開始年度	昭和53(1978)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	崎山 正人	
	歳出費目	款)教育費	項)社会教育費	目)社会教育総務費	決算附属資料	240	頁
	施策の大綱	青少年の健全育成			関連計画等	-	
	施策名	健全育成体制を充実させる			根拠法令等	-	
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )					
基礎情報	事業目的(あるべき姿)	本市の社会教育の重点に基づき、市民全体の人間力の向上、特に次代を担う青少年の健全育成を目指して、家庭・学校・地域社会の連携を大切にして市民総がかりで活動を展開する。					
	対象者	市民	対象者数	79,000	一人当たりコスト	0.08	
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等>					
	事業概要	○掲示教育の推進:各自治会単位でこだま教育推進員を委嘱し、市内351箇所月2回掲示文を板書している。 ○啓発紙の発行:家族だんらんの日作文集を市内全戸配布○青少年思いやり地域活動事業:青少年の学校外活動の推進や家庭と地域における教育力の向上を図る取り組みを各地区公民館を中心に実施○「心の教育」実践活動:教育行政、公民館、学校、関係団体による「心の教育」実践活動中央本部を設置し、各構成員が次代を担う青少年を健全に育成する必要性を認識するとともに、市民全体の共通認識となるよう「心の教育」実践活動の推進を図る。					
	主な経費と具体的内容(H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費
		需用費		作文集印刷製品(全戸配布)、掲示黑板購入等			660
役務費		通信・運搬費			64		
負担金及び補助金		心の教育実践活動中央本部交付金1170			1,904		
関連事業							
予算と執行の状況	区分		H28	H29	H30	H31要求	
	事業費	当初予算・・・①	3,404	2,544	1,648	1,598	
		補正予算等・・・②	△ 130	111	0		
		繰越し等・・・③	0	0	0	0	
	財源内訳	一般財源	1,572	1,356	824	0	
		国支出金	0	0	0	0	
		府支出金	1,702	1,299	824	799	
		地方債	0	0	0	0	
		その他特財	0	0	0	0	
		特定財源名称(H29実績)	平成こだま教育推進事業(みらい戦略)		1,299	府補助金	28 頁
							頁
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)	0.22/0.77	0.23/0.77	0.23/0.77	/	
概算人件費・・・④		3,685	3,765	3,765			
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤		6,959	6,420	5,413			
執行状況	執行額・・・⑥		2,955	2,628			
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		90.3%	99.0%			
業績指標	成果実績(アウトカム)実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標
		教育推進員による掲示活動	回	24/24	24/24	24/24	24
		「心の教育」実践活動の参加人数(あいさつ運動は除く)	人	21510/23000	21485/23000	/23000	23000
	活動実績(アウトプット)実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標
		掲示箇所数	箇所	356/357	356/357	351/357	357
			単位あたりコスト	8.3	7.4		
	「心の教育」実践活動実施ブロック数	ブロック	10/10	10/10	/10	10	
	単位あたりコスト	295.5	262.8				

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・いじめ問題、地域の希薄化など現代的な社会問題や課題を把握し、その解決に向け家庭・学校・地域が連携して取り組む事業として必要である。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・教育推進員(357名)は、ボランティアで実施。また、「心の教育」実践活動や青少年思いやり活動についても、活動における人件費的な経費までは支援を行っておらず、各団体の協力で実施。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	△	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	△	・成果目標については、事業規模から経験的に期待される目標としており、十分に理にかなったものとは言い難い。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	<p>●家庭・学校・地域社会が連携し、「あいさつ運動」、「家族だんらんの日」、「掲示教育活動」、「青少年学校外活動」など様々な活動を多くの地域で実施し、活動参加者も多くの方が関わっていることから、これらの活動が各地域で定着し、それぞれの地域実態にあった取り組みが進められていることは評価できる。</p> <p>●掲示教育は地域づくり、環境、人権等の啓発文を全市約350箇所掲示するもので、市民に教育のまちづくりを地域一丸での見守りの醸成を進めることができている。</p>	
	今後の課題及び方向性	<p>●地域住民と児童・生徒の交流を図ることはできおり、今後、地域による学校支援を推進していく必要がある。</p> <p>●今後も継続して、少年を取り巻く現状を把握し、課題解決に向け、各関係機関と連携を図る。</p> <p>少子高齢化に伴う掲示教育推進員の確保が課題である。</p>		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所見		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<p>方針区分</p> <p>□ 廃止/休止</p> <p>□ 他事業と統合し組替</p> <p>□ 予算縮減を伴う見直し</p> <p>□ 予算増減のない見直し</p> <p>□ 予算拡充を伴う見直し</p> <p>☑ 事業の見直しなし</p>	<p>内容</p> <p>■平成29年度に補助金等の交付対象、内容を見直したため本年度は継続的な事業運営とする。</p>	
	予算への反映 【財政担当課記入】	<p>予算額の反映状況(対H30)</p> <p>□ 維持 □ 組替</p> <p>□ 縮減 □ 廃止/休止</p> <p>□ 拡充</p>	<p>担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】</p>	

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	旧勤労青少年ホーム施設管理事業			610115	担当課	生涯学習課	
	開始年度	昭和50(1975)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	崎山 正人		
	歳出費目	款)教育費	項)社会教育費	目)社会教育総務費	決算附属資料	240	頁	
	施策の大綱	青少年の健全育成			関連計画等	-		
	施策名	健全育成体制を充実させる			根拠法令等	-		
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )						
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	教育施設及び行政施設の一部として適正な維持管理を行う (けやき広場、文化・スポーツ振興課文化財保護係の整理事務所)						
	対象者	けやき広場等利用者	対象者数	50	一人当たりコスト	80.80		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 〈委託先・実施主体等〉 小谷商事、アムス警備保障、シルバー人材センター						
	事業概要	勤労青少年ホームの設置目的は達成されたとして平成25年度で閉鎖。平成26年度から旧勤労青少年ホーム施設管理事業に移行。施設の適正な維持管理を行う。 文化財保護事務、けやき広場(適応指導教室)、社会教育関係(婦人会、保護司会)関連の施設として運営している。文化財保護事務は平成30年度からは本庁で実施(整理作業は継続)。						
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費	
		需用費		消耗品費、光熱水費、施設修繕			2,045	
役務費		通信運搬費、手数料、建物共済保険			234			
委託料		設備保守点検、警備業務、施設清掃業務			706			
使用料及び賃借料		NHK受信料			15			
関連事業								
予算と執行の 状況	区分			H28	H29	H30	H31要求	
	事業費	当初予算…①		3,667	3,278	3,169	3,099	
		補正予算等…②		△ 9	△ 278	0		
		繰越し等…③		0	0	0	0	
		財源内訳	一般財源		3,658	3,000	3,169	3,099
			国支出金		0	0	0	0
			府支出金		0	0	0	0
			地方債		0	0	0	0
	その他特財		0	0	0	0		
	特定財源名称 (H29実績)					頁		
						頁		
職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.13/0	0.13/0	0.13/0	/		
	概算人件費…④		1,040	1,040	1,040			
総事業費(①+②+③+④)…⑤			4,698	4,040	4,209			
執行状況	執行額…⑥		3,608	3,000				
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		98.6%	100.0%				
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		けやき広場利用者(相談室)	件	763/600	833/600	/600	500	
		埋蔵文化財包蔵地問合わせ	件	347/300	337/300	-	-	
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		維持管理保守(周辺除草・点検)	回	18/20	15/20	/20	10	
		単位あたりコスト		200.4	200.0			
			/	/	/			
	単位あたりコスト		0.0	0.0				

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	△	・適正な施設管理を行う上で必要である
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	△	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・必要最小限の維持管理費で実施
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	△	・適正な施設管理を行う上で一定有効である
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△	
		先事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△	
	目的及び指標等の達成状況に対する評価	社会教育、学校教育の推進と振興を進める施設の利用目的に沿った管理を適正に行っている。 (定性的評価)		
今後の課題及び方向性	平成25年度に勤労青少年ホームにかかる条例を廃止し、現在、教育施設として管理している。本施設は、設置から43年経過し、老朽化が進み毎年修繕費が増加傾向となっている。今後の施設の方向性(廃止も含め)を検討する			
庁内及び外部による評価	所 見			
	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震ができてないのは不安</li> <li>・学校教育課と費用負担の整理をしてはどうか、その中で施設全体の方向性を定めてはどうか</li> <li>・学校教育課と連携し、早期にけやき広場の移転先の検討をしてください。</li> <li>・移転先の候補地は、その目的に沿ったところか、維持管理に係る費用等検討・比較し、判断すべきと考える。</li> <li>・旧勤労青少年ホームは、けやき広場の所在地としてはよい場所であるが、建物自体の耐震や維持管理費用、公共施設マネジメント実施計画の視点から見るとあり方を考える必要がある。</li> <li>・公共施設マネジメントにおいても「(仮称)教育支援センターが移転後に廃止」と計画されており、また、本施設の管理に関する条例も廃止済みであり、関係課との調整を出来るだけ早期に進める必要がある。</li> </ul>		
三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見			
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<b>方針区分</b>  <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<b>内 容</b>  ■旧勤労青少年ホームは社会教育、学校教育、文化振興の複合施設として維持管理しているものであり、共有する部分が多く、負担割合を細分化することは困難である。また、維持管理経費を按分する案については事務効率化を進める上でも適切ではないと判断する。 ■施設の老朽化は喫緊の課題であり、施設整備も視野に入れながら同施設の継続性を判断する必要があると認識している。 ■今後5年以内に施設機能の代替施設を選考し、施設の廃止に向けた検討を行う。	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30)  <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	青少年健全育成事業			610204	担当課	生涯学習課	
	開始年度	昭和28(1953)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	崎山 正人		
	歳出費目	款)教育費	項)社会教育費	目)社会教育総務費	決算附属資料	240	頁	
	施策の大綱	青少年の健全育成			関連計画等	-		
	施策名	健全育成体制を充実させる			根拠法令等	地方青少年問題協議会法、福知山市青少年問題協議会条例		
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )						
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	家庭と地域・学校が連携しながら、市民総がかりで次代を担う青少年が心豊かに安心して暮らせる環境づくりに努めるとともに、社会の一員として地域活動やボランティア活動に積極的に参加できる人材を育成する。						
	対象者	市の将来を担う子ども達	対象者数	6,500	一人当たりコスト	0.50		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等>						
	事業概要	青少年問題協議会の運営(年1回) 青少年健全育成大会の開催(年1回) 「青少年を非行から守り健全に育てる運動」等の啓発活動						
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費	
		報酬		青少年問題協議会委員報酬			48	
報償費		青少年健全育成大会出演者謝礼、			8			
需用費		表彰記念品、看板作成等			46			
役務費		通信運搬費			82			
負担金補助及び交付金		福知山更生保護協会補助金			113			
関連事業								
予算と執行の 状況	区分			H28	H29	H30	H31要求	
	事業費	当初予算・・・①		467	436	273	356	
		補正予算等・・・②		△ 61	△ 83	0		
	繰越し等・・・③		0	0	0	0		
	財源内訳	一般財源		406	353	273	356	
		国支出金		0	0	0	0	
		府支出金		0	0	0	0	
		地方債		0	0	0	0	
		その他特財		0	0	0	0	
		特定財源名称 (H29実績)					頁	
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.42/0.14	0.32/0.14	0.32/0.14	/	
概算人件費・・・④		3,710	2,910	2,910				
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			4,116	3,263	3,183			
執行状況	執行額・・・⑥			343	297			
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)			84.5%	84.1%			
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		青少年補導件数(福知山警察署)	人	677/850	568/850	/500	850	
		刑法犯少年数(福知山警察署)	人	18	21	/0	/0	
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		健全育成大会開催	回	1/1	1/1	/1	1	
		健全育成大会参加者数	人	180/300	170/300	/300	300	
		単位あたりコスト	1.9	1.7				

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・市民の力で次代を担う青少年の健全育成は自治体の大きな課題であり、必要性は高い。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・コスト的に活動内容にあった運営となっている
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・活動実績、成果実績は、概ね達成できている。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
	▽担当課による自己評価△	目的及び指標等の達成状況に対する評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>●青少年のインターネットに関わる犯罪などが大きな問題となっており、各関係団体や携帯会社、幼稚園、小・中学校、高校など児童・生徒や保護者へ普及啓発活動を行った。</li> <li>●健全育成大会においても、各学校の取り組み事例発表や、青少年を取り巻く犯罪防止の講演を行うことで、各関係団体が現代的な課題について共通認識を持てる場となっている。</li> <li>●福知山市における青少年補導件数(福知山警察署発表)の過去5年間平均値850人を指標とする場合、近年の状況は60~70%と良好に推移することも健全育成活動の評価として適切である。</li> </ul>	
今後の課題及び方向性		<p>青少年を取り巻く問題などは、日々変化するため、常に現状を把握し、現状にあった課題・対応策を青少年問題協議会の意見を踏まえ啓発活動などを実施し、青少年の健全育成活動を促進する。</p>		
庁内及び外部による評価	二次評価(庁内) 【行革担当課記入】	<p style="text-align: center;">所 見</p> <p>・「青少年の健全育成」の健全とは、どのような定義か？ → 成果は何に表れるのか？ ⇒ 明確に意識して進めるべき          ・指標として、少年犯罪の発生率、補導、注意の件数等を明記しておくこと          → ただし、この事業の結果として直接的な効果を表すものではないことを踏まえること          ・大人向けなのか、子ども向けなのか、どれだけアプローチが図られているのか、目的と実績を具体化すること          ・少年犯罪は減少、本市における事案もかつてより少ない(一万引き、自転車の窃盗で年20件)とのこと。ならば存続の必要があるか？と問われている。          ・子どもに何人、何回接触しているか？(活動指標)を通じて、子どもの意識にどう影響を与えているかを測るべき(OutCome)          ・補助金交付先の事業に対する補助率1/2になっているか。高率であれば見直しを。          ・補助金については一旦休止となっているが、成果がでるような組立てを。          ・「青少年健全育成」というのがわかりづらい</p>		
	三次評価(外部) 【行革担当課記入】	<p style="text-align: center;">所 見</p>		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<p style="text-align: center;">方針区分</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止/休止  <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替  <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し  <input checked="" type="checkbox"/> 予算増減のない見直し  <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し  <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし</p>	<p style="text-align: center;">内 容</p> <p>■青少年の健全は、「自分のため、人のため、社会のため、ともに幸せを生きる人材」の育成と定義している。          ■福知山警察署発表の年間青少年補導等件数を成果指標として挙げたい。          ■まず大人が自らの姿勢を正すとともに家庭教育を重視して家庭・地域の絆を深めることを意識し、青少年の生き方の良き手本となることを目指す。そして悩める青少年に一言の声かけを実践する。          ■青少年犯罪等は減少傾向にあるが社会の中にある危険性について世代間の理解を深め、犯罪やトラブルに巻き込まれない環境を維持するため、継続的な育成活動が重要と考える。          ■大人自らが子どもの指導者であり、相談相手となれるよう意識の確認と共有ができるよう、街頭啓発と青少年育成大会を各年1回開催している。また大会の際には青少年の健全育成に多大な貢献をいただいた方々に表彰を行っており、引き続き健全育成意識の高揚、啓発に努める。          ■更生保護協会への補助金見直しを行った。市民・行政の協働による青少年健全育成を目指し実践団体へ負担金として支出することを検討する。          ■60年以上続く市民主体の青少年対策・啓発として定着しており、今後も継続的な活動を進めるため周知啓発に努める。</p>	
	予算への反映 【財政担当課記入】	<p>予算額の反映状況(対H30)</p> <p><input type="checkbox"/> 維持    <input type="checkbox"/> 組替  <input type="checkbox"/> 縮減    <input type="checkbox"/> 廃止/休止  <input type="checkbox"/> 拡充</p>	<p style="text-align: center;">担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】</p>	



平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	成人式事業			610301	担当課	生涯学習課		
	開始年度	昭和26(1951)		終了予定年度	平成32(2020)		作成責任者	崎山 正人	
	歳出費目	款)教育費	項)社会教育費	目)社会教育総務費	決算附属資料		240	頁	
	施策の大綱	青少年の健全育成			関連計画等	-			
	施策名	健全育成体制を充実させる			根拠法令等	-			
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )							
基礎情報	事業目的(あるべき姿)	青年が次代を担う者としての自覚を高め、社会の一員としての意識を養い、自己の確立に努めることを基本方針とし、その方針を具現化するために成人の日の前日に式典を挙行し、参集した新成人を祝い、激励する。次代を担う新成人を保護者、地域が認め、大人の仲間として受け入れる。							
	対象者	新成人		対象者数	800		一人当たりコスト	3.93	
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等> (株)フォールズ(警備)、Crew・Solook(音響・照明)、(株)街装社(会場設営)							
	事業概要	成人式の開催 平成30年1月7日(日)開催 三段池公園総合体育館 出席者:667人 内容 高校生による司会進行、新成人の主張、メッセージ集の作成・配布、市内各高校ボランティアによる式典運営協力							
	主な経費と具体的内容(H29実績)	項目		具体的な内容				H29経費	
		報償費		成人式協力団体謝礼				40	
需用費		記念誌印刷製本、看板作成等				194			
役務費		通信運搬費				73			
委託料		警備委託料、音響・舞台照明・設営業務、バス運転代行				371			
使用料及び賃借料		会場使用料、機器借上げ料				303			
関連事業									
予算と執行の状況	区分			H28	H29	H30	H31要求		
	事業費	当初予算・・・①		1,308	994	986	943		
		補正予算等・・・②		△ 195	△ 8	0	0		
		繰越し等・・・③		0	0	0	0		
	財源内訳	一般財源		1,113	986	986	943		
		国支出金		0	0	0	0		
		府支出金		0	0	0	0		
		地方債		0	0	0	0		
		その他特財		0	0	0	0		
		特定財源名称(H29実績)					頁		
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.26/0.03	0.26/0.03	0.26/0.03	/		
		概算人件費・・・④		2,155	2,155	2,155	/		
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			3,268	3,141	3,141	/			
執行状況	執行額・・・⑥		995	981	/				
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		89.4%	99.5%	/				
業績指標	成果実績(アウトカム)実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標		
		出席者の割合	%	88.9/100	83.6/100	/100	100		
				/	/	/			
	活動実績(アウトプット)実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標		
		成人式開催	回	1/1	1/1	/1	1		
		単位あたりコスト		995.0	981.0	/	/		
			/	/	/				
	単位あたりコスト		0.0	0.0	/	/			

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・成人式は、全国的にも定着している事業であり必要。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・運営にあたっては、高校生ボランティアの募集、アトラクションも近隣高校に協力いただくなどコスト削減に努めている。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・活動実績、成果実績とも概ね達成している。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
	目的及び指標等の達成状況に対する評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>●平成18年度から三段池公園総合体育館で実施し、平成29年度は、体育館が改修のため、厚生会館にて実施した。多数の参加で厳粛な中にも祝意をこめた成人式となっている。平成29年度は、三段池公園総合体育館へ戻り実施した。大きなトラブルもなく実施できたことは評価できる。</li> <li>●近年の記念品の持ち帰り状況や近隣市の実施状況を考慮して、平成29年度から記念品を廃止した。</li> </ul>		
	今後の課題及び方向性	<p>継続的に事業実施を進め、新成人を祝うとともに激励し、自覚を促す。 市在勤、在住、出身の新成人が一同に介する機会であるので、若者の意識、考え方を聴取する手法を検討する。</p>		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	<p style="text-align: center;">所 見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出席者に満足度などのアンケートを実施してはどうか</li> <li>・式典の内容やスタッフ、記念品等、実施方法を精査して、低コストで開催できるよう工夫されているのがすばらしいと感じた。</li> <li>・成人式は、多くの若者が一同に集まるよい機会なので、Uターンを促せるように市内の就職先の紹介ブースを設けたり、記念誌に市内店舗の有料広告を掲載する等さらに充実されるとこの事業の有効性も高まると思う。</li> <li>・全庁的に協力して、この成人式をチャンスとして活かせるような催しやブース展開等をできないか前向きに検討してほしい。</li> <li>・本事業は、新成人はもちろん、その保護者にとっても大きな意味がある事業として位置づけられ、出席率の高さからも考えられるように、必要性は高い。</li> <li>・福知山に縁のある若い世代が帰ってくるこの機会は、将来の福知山市のために市をアピールする絶好の機会。成人式としての本来の趣旨を崩さない範囲で、他事業と協力できる部分は積極的に実施していただきたい。</li> <li>・新成人及びその保護者にとって大きな節目となる重要な事業であり、本市での新成人の参加率はおそらく近隣等と比較しても高いものであると感じる。</li> <li>・「18才成人」を迎えるという機会を捉え、他市事例や関係課との調整のなかで実施方法を工夫してもらいたい。</li> </ul>		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	<p style="text-align: center;">所 見</p>		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<p style="text-align: center;">方針区分</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 廃止/休止</li> <li><input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替</li> <li><input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し</li> <li><input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し</li> <li><input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし</li> </ul>	<p style="text-align: center;">内 容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 社会人への仲間入りを果たす新成人の門出を祝う会として市内外に定着した事業である。継続して運営を進めたい。</li> <li>■ 会場使用料、運営資材借上料等が事業費の大半を占めており、限られた予算の中で新たな支出を伴う企画等の実施は困難である。</li> <li>■ 市内出身、籍を置く若者が一同に介する機会であるため、市各課事業のPR、また各種取組みにを推進する際の意見収集等を行う場として活用いただきたい。</li> </ul>	
	予算への反映 【財政担当課記入】	<p>予算額の反映状況(対H30)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 維持    <input type="checkbox"/> 組替</li> <li><input type="checkbox"/> 縮減    <input type="checkbox"/> 廃止/休止</li> <li><input type="checkbox"/> 拡充</li> </ul>	<p style="text-align: center;">担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】</p>	

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	公誠子ども教室事業 (610302)			担当課	生涯学習課	
	開始年度	平成23(2011)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	崎山 正人	
	歳出費目	款)教育費	項)社会教育費	目)社会教育総務費	決算附属資料	240	頁
	施策の大綱	青少年の健全育成			関連計画等	-	
	施策名	健全育成体制を充実させる			根拠法令等	-	
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )					
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	公誠地区の放課後等における子どもたちの安全で健やかな居場所、まなびの場づくり					
	対象者	休校中の公誠小学校の校区内に居住する児童	対象者数	7	一人当たりコスト	387.29	
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等>					
	事業概要	平成29年度実績 登録児童数 7人 教室開講日数 191日 延べ参加人数 528人					
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目	具体的な内容			H29経費	
	報償費	コーディネーター、学習アドバイザー、安全管理委員謝礼			1,100		
	関連事業						
予算と執行の状況	区分		H28	H29	H30	H31要求	
	事業費	当初予算...①	1,761	1,751	1,549		
		補正予算等...②	0	0	0		
		繰越し等...③	0	0	0		
	財源内訳	一般財源	587	584	517		
		国支出金	0	0	0		
		府支出金	1,174	1,167	1,032		
		地方債	0	0	0		
		その他特財	0	0	0		
		特定財源名称 (H29実績)	公誠子ども教室事業		640	府補助金	28 頁
							頁
職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)	0.12/0	0.12/0	0.12/0	/		
	概算人件費...④	960	960	960			
総事業費(①+②+③+④)...⑤		2,721	2,711	2,509			
執行状況	執行額...⑥		1,735	1,100			
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		98.5%	62.8%			
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標
		参加児童累計	人	783/1400	528/1400	/1400	1400
				/	/	/	
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標
		実施箇所数	箇所	1/1	1/1	/1	1
		単位あたりコスト		1,735.0	1,100.0		
			/	/	/		
	単位あたりコスト		0.0	0.0			

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	△	・公誠小学校の休校に伴い「地域に子どもの声が残るように」という教育的配慮により、地域の子どもを地域で育てることで、地域の活性化を図るという観点からも必要
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	△	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	△	・対象の児童数が減少する中で、コスト削減に向けた工夫が必要
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	△	・対象の児童数が減少する中で、今後の運営について、地元の意向を踏まえた協議が必要
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	活動実績及び成果実績から、公誠地区の放課後等における子どもたちの安全で健やかな居場所、まなびの場づくりができたことは評価できる。ただ、教室運営を支えている地域住民の高齢化や対象児童の減少など、今後の適正な運営に支障が出ると考えられる。	
	今後の課題及び方向性	「公誠子ども教室事業」を実施した背景には、北陵中学校と公誠小学校の統廃合問題がある。常に保護者や地元関係者と情報交換はしており、地元の意向を踏まえて実施している事業であり、子どもたちの放課後等における安全で健やかな居場所、まなびの場づくりに効果がでている。今後も保護者や地元の意向を尊重しながら見直しも検討していく。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<b>方針区分</b>  <input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<b>内 容</b>  ■平成29年度をもって事業完了した。  ※平成30年度は予算化したが、地元の意向もあり事業実施はしていない。予算執行ベースではH29年度で終了している。	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30)  <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	PTA連絡協議会共催事業 (630237)			担当課	生涯学習課		
	開始年度	昭和46(1971)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	崎山 正人		
	歳出費目	款)教育費	項)社会教育費	目)社会教育総務費	決算附属資料	242	頁	
	施策の大綱	青少年の健全育成			関連計画等	-		
	施策名	健全育成体制を充実させる			根拠法令等	-		
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )						
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	福知山市PTA連絡協議会のリーダーとして教養を高め、資質の向上を図る機会を通じ、本市PTA活動の推進に寄与する。福知山市PTA連絡協議会をもって各単Pの事業交流等の情報交換を図る						
	対象者	各市立幼稚園・小・中学校PTA会員	対象者数	5,500	一人当たりコスト	0.24		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等>						
	事業概要	市P幹部研修会、中丹P指導者研修会、府P指導者中央研修会、府PTA研究大会、市Pインディアカ大会、近畿P研究大会、市P人権研修						
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費	
		旅費		職員旅費			1	
需用費		燃料費(バス)			10			
委託料		研修会バス運転代行業務委託			27			
使用料及び賃借料		駐車場、高速道路等通行料			17			
負担金補助及び交付金		研修会負担金			34			
関連事業								
予算と執行の 状況	区分			H28	H29	H30	H31要求	
	事業費	当初予算・・・①		165	91	85	105	
		補正予算等・・・②		0	0	0		
		繰越し等・・・③		0	0	0	0	
		財源内訳	一般財源		165	91	85	105
			国支出金		0	0	0	0
			府支出金		0	0	0	0
			地方債		0	0	0	0
			その他特財		0	0	0	0
	特定財源名称 (H29実績)					頁		
						頁		
職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.01/0.47	0.01/0.47	0.01/0.47	/		
	概算人件費・・・④		1,255	1,255	1,255			
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			1,420	1,346	1,340			
執行状況	執行額・・・⑥		78	89				
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		47.3%	97.8%				
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		研修会・大会等参加者数(延べ)	人	952/1700	1347/1700	/1700	1700	
				/	/	/		
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		事業開催数	回	16/16	16/16	/16	16	
		単位あたりコスト		4.9	5.6			
			/	/	/			
	単位あたりコスト		0.0	0.0				

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・各PTA活動を交流しあい指導者の力量を高めることは、各保護者としての成長のために必要である。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・受益者負担として各単位PTAから負担金を徴収している。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	△	・成果目標については、事業規模から経験的に期待される目標としており、十分に理にかなったものとは言い難い。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	各種の研修を積極的に開催し会員相互の研修交流を深め、保護者としての「教育」に対する意欲と資質を高められていることは評価できる。	
	今後の課題及び方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>●引き続き、「家族だんらんの日」の普及等を通して、地域・家庭をあげての教育力の向上につながるような取り組みを進めていく。</li> <li>●研修など活動内容について、現状分析しより効果的なあり方を検討していく必要がある。</li> </ul>		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<b>方針区分</b>  <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<b>内 容</b>  ■保護者・学校・地域の連携を深める上で、必要不可欠な組織として、その活動を支援し、啓発する事業として継続的に推進する。  【H29棚卸しによる見直し状況】 ■研修会等の時間枠を拡大することでPTA活動への理解と役割を確認し、活発な活動を実施できた。 ■市PTA役員が毎年替わることから、前年度の役員を顧問として位置づけ、円滑な引継ぎができるように図った。特に府PTA事業の推進における度をまたいだ取り組みに効果が発揮できる。	
	予算への反映 【財政担当課記入】	<b>予算額の反映状況(対H30)</b>  <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		